

## 日々 往来



田口 哲也

ここ数年、人々をハッとさせてきた話題のひとつに「人工知能（AI）やロボットの台頭で、将来なくなる可能性の高い仕事、なくなるしない仕事」というリストがある。

数年前に海外で発表されたものだが、わが国でもさまざまな場面で紹介され続けていることから、ご存じの方も多いかもしれない（その一例は、日銀本店のサイトでも見

### 人手不足をチャンスに変えたい

ることができる。て、一人一人の仕事の成果を、コスト単価の上昇その当否が気になる方には、ネット等でご覧いただければ経済全体としての所得として、こうした頭の向上へとつなげていくか。体操を前に、わが生業のより本質的な課題が新たな付加価値やイノベーションがさまざまな仕事に「隠れている」と前向きに捉えるか、試されている。よつでもある。

とところで、このところ景気回復が続くなか、人手不足が経営の足かせとなることが懸念も強まりつつある。さしあたりは、当地も含め、要員確保のための女性や高齢者の活用推進や作業手順の見直しや省人化投資による効率化、コスト削減などのいくつかの「つ」とい企業が多いようである。

ただ、中長期的には人口減少や少子化傾向が避けがたい中で、いかにし（日本銀行鳥取事務所長）